

社会福祉法人筑前会
令和2年度事業報告書
(令和2年4月～令和3年3月)

社会福祉法人筑前会
法人本部

R2年度法人活動状況

1. 財務状況(令和2年度総括)

(1) 法人全体の収入は前年度比+約14百万円(+3%)であり、収入増の内訳としては入所系事業(従来型特養、ユニット型特養、短期入所事業)が前年比+約13百万円、在宅系事業所(通所事業、訪問介護事業、居宅介護事業)が±0、委託事業(在宅介護支援センター、配食サービス)が+約1百万円であった。

収入の増加要因としては①収入=支出が要件である加算及び助成金による収入増+約9百万円
②利用者増加及び新規加算取得による介護保険収入増+約5百万円によるもの。

但し、当初見込んでいた通所事業所の利用者の増加が新型コロナの影響等により第1、4四半期が低調に終わったことで、上期時点での見込みとは大きく差異が生じた。

(2) 支出は前年度比+3百万円であったが、収入=支出が要件である加算及び助成金額が約9百万円のため、実質的に▲6百万円程度の削減であった。

(3) 収支差額は△約36百万円(前年度比+約12百万円)であった。※資金収支は△約11百万円であった。次年度以降に向けた収支改善策としては①介護報酬改定に伴う積極的な新規加算の取得、②施設の空床の削減(長期入院者の入退所管理、短期入所利用者の利用曜日の均衡化、長期ショート利用者数管理等)、③在宅サービス事業の新規利用者数及び利用回数増加への活動強化、④地域貢献サービス利用者の介護サービス利用者への展開、⑤助成金等の活用による支出の抑制、⑥職員の効率配置等による人件費の抑制、⑦契約見直し、節電等による水道光熱費の削減、⑧その他価格競争による発注金額の精査による支出抑制策等により、収支差額△20百万円(前年比+15百万円改善)を目指す。※資金収支における次年度収支差額目標:±0

(4) 資産状況

①R2年3月31日現在:963,728,396. -

②R3年3月31日現在:920,063,889. - (※前年度比△43,664,507. -)

◆現行の流動資産(積立資産含む)・・・約555百万円(前年比△約21百万円)

・人件費(職員処遇改善等)積立金:約180百万円(前年比△約30百万円)

・建設修繕等積立金:約257百万円(前年比±0)

・現金預金、未収金:約120百万円(前年比+約9百万円)

(5) その他財務情報(社会福祉充実残額)

①社会福祉充実残額(R3.3.31現在)

※c・・・は概算(暫定)金額

項目	金額		備考
流用可能な財産・・・a	691,903,445	控除対象財産合計・・・b	総資産-負債-基本金等
社会福祉法に基づく事業に活用する不動産	154,309,121		貸借対照表価額-基本金等
再取得に必要な財産・・・c	537,637,945		建替費用、大規模修繕、設備・車両更新
必要な運転資金・・・d	112,842,900		年間事業活動支出の3か月分
合計・・・e	-112,886,521	①-②	

②社会福祉充実計画執行状況

◆地域貢献事業費(投資計画):約150百万円(約30百万円/年×5か年)

⇒計画残:0百万円 社会福祉充実残額(計画残)がなくなったことにより、計画完了となる。

2. 採用関係

(1) 求人実績

①専門学校:麻生専門学校

②高校:折尾愛真高校、遠賀高校

③民間:(株)アイコンズ(委託職業訓練校)

(2)採用実績

①新規採用者:6名(介護職:5名、調理師:1名)

・新卒採用者:2名

県立高校:2名

・中途採用数:4名

職業訓練校紹介:1名

ハローワーク:3名

②退職者:6名(介護職:5名、栄養士:1名)

(3)広報活動

①会社HPによる求人

②ハローワークにおけるHP掲載登録

3. 各事業運営

(1)役員会

①理事会:3回

②評議員会:3回

(2)行政対応関係

①現業報告(決算・事業報告)

・行政報告:令和2年6月末

②処遇改善加算申請等

・令和1年度実績報告:令和2年7月20日

・令和2年度申請:令和2年4月8日(福岡県)

③労働基準監督署対応

・定期健康診断結果報告:1回

・ストレスチェック実施結果報告:1回

・令和3年度36協定提出:令和3年4月8日

・就業規則変更届:令和2年3月31日

④集団指導参加

・各事業所説明会参加(7事業所:6名参加)

⑤介護報酬改定説明会:2回/2名

⑥助成金申請関係

◆新型コロナ緊急包括支援金

・介護慰労金:86名、4.3百万円

・感染対策費用助成事業:4.7百万円

◆新型コロナ両立支援金

・小学校等休業対応:5名

・母性健康管理措置:2名

◆特定求職者雇用開発助成金:1名

◆キャリア形成促進助成金(初任者研修):1名

(3)研修・教育

①行政主催研修会

・安全運転管理者研修:1回/1名

・遠賀町居宅事業所事例検討会:1回/1名

・主任ケアマネ更新研修:8回/1名

・ケアマネ実務者研修:1回/1名

・高卒新人採用説明会:1回/1名

・看護職員向高齢者権利擁護研修:3回/1名

- ・介護職向けセミナー: 4回/6名
- ・会計担当者実務研修: 1回/1名
- ・褥瘡防止対策研修: 1回/2名
- ・認知症基礎研修: 1回/1名
- ・会計決算セミナー: 1回/1名

②資格取得支援

- ・ケアマネ試験対策講座: 2回/2名
- ・ケアマネ実務者研修: 9回/1名
- ・初任者研修: 13回/1名

③社内研修

- ・運営会議: 8回

事業計画・報告、交通事故防止教育、ハラスメント防止、新型コロナ対策講義(3回)
高齢者虐待防止講義他

- ・リーダー会議: 11回

④遠賀中間老人ホーム協議会: 2回/1名

(4)看取り介護

- ・前年度実績: 1名(R2年4月1日~R3年3月31日)

(5)利用者処遇検討会議

- ①ケアカンファレンス開催数: 36回

※DRカンファレンスを含む

- ②給食会議開催数: 12回

- ③企画会議開催数: 12回

- ④入所判定委員会: 5回

4. 建物改修、設備更新等(※100,000円以上)

(1)建物・設備改修

- ①無線LAN工事: 1,890,000円(行政補助による)
- ②新館居室、本館浴室防カビ・抗ウイルス塗装: 720,000円(行政補助による)
- ③本館居室、脱衣所換気扇改修工事: 470,000円(行政補助による)
- ④受水槽ポンプ修理: 1,210,000円
- ⑤本館居室空調工事(修理交換): 136,400円
- ⑥本館洗濯機修理: 120,340円
- ⑦吸引機(修理交換): 176,000円

(2)設備更新・新規導入

- ①TV会議用PC×2式: 239,360円(行政補助による)
- ②空気清浄機×3台: 323,400円(行政補助による)
- ③会計用システムV-UP: 462,000円

5. 地域貢献・地域との連携活動(介護保険制度外の地域に対する支援活動等)

- (1)運営推進会議開催数: 5回
- (2)福祉サービス第三者委員会: 3回
- (3)高齢者調整会議開催(参加回数): 3回
- (4)遠賀町社会福祉協議会委員参加: 2回
- (5)遠賀町居宅事業所事例検討会: 1回/1名
- (6)介護保険認定審査会: 2回/月/1名
- (7)遠賀町社会福祉法人連絡会: 2回/1名
- (8)遠賀町高齢者保健計画委員会: 3回/1名

(9)地域の公益的な活動に対する事業所資源の提供(施設環境の解放、教育支援)

- ①各種地域ボランティア活動・慰問受入れ:2回
- ②傾聴ボランティア受入れ(研修環境の提供):中止
- ③(保育園児、小学生等)地域学生との交流会の定期開催:中止
- ④介護体験等学生受け入れ
 - ・インターンシップ(高校生):1名
 - ・職業訓練生ボランティア(職業体験)受入れ:2名
- ⑤各種資格取得を目指す実習生の受け入れ(短期大学、専門学校、介護養成校等)
 - ・社会福祉士施設実習受入:1名(3回)
 - ・栄養士、調理師実習受入:1名
 - ・職業訓練校介護実習(体験)受入:2名
- ⑥緊急時の受入れ対応(同居ご家族の入院等による緊急受け入れ)
 - ・緊急ショート受け入れ:2名

(10)地域貢献サービス事業

- ・R2年度活動実績:10,994件/年・・・別紙「R2年度活動実績」参照

6. 組織(職員)体制等(R3. 3. 31現在)

(1)職員数:86名(男性:8名、女性76名)

(2)職種別内訳

- ①管理者:2名(各事業所兼務管理者、居宅介護事業所管理者)
- ②事務員:2名(法人本部職員含む)
- ③看護師:5名(兼務含む)
- ④相談員:3名(兼任:1名、補助1名含む)
- ⑤介護支援専門員:5名(兼任2名、専任3名) ※+1名
- ⑥介護職員:56名(正職員:25名、契約職員:31名) ※+1名
 - ・従来型施設:27名、・ユニット型施設:12名、・通所介護:14名、・訪問介護:3名
- ⑦厨房業務従事者:9名
- ⑧ソーシャルワーカー:3名 ※うち兼務補助2名
- ⑨その他支援員(送迎、配食等):3名

(3)保有資格別内訳

- ①社会福祉士:2名
- ②社会福祉主事:2名
- ③正看護師:2名、准看護師:3名
- ④介護支援専門員:5名
- ⑤介護福祉士:48名、実務者研修・初任者課程修了相当資格:11名
- ⑥管理栄養士:1名、栄養士:4名
- ⑦調理師:4名